



環境活動報告書

(2012年10月)



株式会社 渡商会
WATARI Co.,Ltd

目 次

1. 概要	1
(1) 会社概要	
(2) 関連会社	
(3) 報告範囲	
(4) 対象期間	
2. 環境方針	2
3. 環境マネジメント体制	3
4. 活動内容	4
(1) 目的・目標	
(2) 活動結果	
5. 投資	11
(1) 投資	
(2) 効果	

1. 概要

(1) 会社概要

会社名：株式会社 渡商会
本社所在地：神奈川県横浜市神奈川区子安通 2-234
設立：昭和22年11月
社長：河西哲男
資本金：2,000万円
従業員数：152人(平成24年4月30日現在)
事業内容：各種高圧ガスの販売、高圧ガス関連設備の設計施工管理
医療関連設備機器の販売、保守管理

営業所

栃木営業所	栃木県河内郡上三川町大字石田字北浦 1240
上武営業所	群馬県太田市新田上江田町 450-1
多摩営業所	東京都八王子市石川町 2552
厚木営業所	神奈川県厚木市長谷 260-31
三重営業所	三重県津市雲出伊倉津町 1268-3
津事業所	三重県津市雲出鋼管町 1
名古屋営業所	愛知県名古屋市緑区大高町字寅新田 1-1
福岡営業所	福岡県京都郡苅田町新浜町 1-32
苅田事業所	福岡県京都郡苅田町新浜町 1-3

売上高：

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
12,364	10,028	10,971	11,688

単位：百万円

(2) 関連会社

会社名：第一マルワ石油株式会社
本社所在地：神奈川県横浜市神奈川区子安通 2-234
設立：昭和49年7月
社長：渡辺文雄
資本金：1,000万円
従業員数：5人(平成23年4月30日現在)
事業内容：石油製品の販売
営業所：京葉営業所 千葉県浦安市北栄 1-11-1 ダイゴビル 303

売上高：

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
494	328	435	464

単位：百万円

(3) ISO14001活動の取組み

ISO14001認証取得 平成13年7月19日
認証範囲(サイト) 株式会社 渡商会本社
第一マルワ石油株式会社
特定される活動 高圧ガス及び関連機器の販売、高圧ガス関連設備の設計
施工管理
登録番号 01ER・143
審査登録機関 高圧ガス保安協会 ISO審査センター

(4) 報告範囲

この報告書は、株式会社渡商会本社(第一マルワ石油株式会社本社含む)の平成 20 年度から平成 23 年度までの環境保全活動に関して記載しています。

尚、平成 23 年 11 月 1 日より、西関東支社(厚木営業所及び多摩営業所)に於いても活動を開始しました。従って、活動結果は、厚木営業所と多摩営業所の実績も含まれています。

(5) 対象期間

平成 20 年 5 月 1 日から平成 24 年 4 月 30 日まで

2. 環境方針

当社では、1997 年 9 月に「地球環境保全対策方針」を定め、環境活動の指針としてきました。平成 16 年 4 月 15 日に見直しが行われ、「未来エネルギー関連事業の強化」と特定フロンも含めた「フロン全般に関する回収、廃棄活動への関与」が定められました。

さらに、平成 16 年 12 月の規格改訂に伴い平成 17 年 3 月 18 日に見直しが行われ法的要求事項の厳格化と周知の範囲の拡大に見合うものに定められました。

そして平成 20 年 10 月 20 日の見直しで目的・目標につながる項目に「地球にやさしい流通の実現」を追加しました。

EMS-0

平成 20 年 10 月 20 日 改訂

地球環境保全対策方針



株式会社 渡 商 会
代表取締役社長 河西 哲 男



当社は、高圧ガスをはじめとする各種商品の販売及びサービスの提供を通じた事業活動の中で、地球環境保護の活動を推進し、全生物が豊かに共生しうる地球環境の維持を目指す。

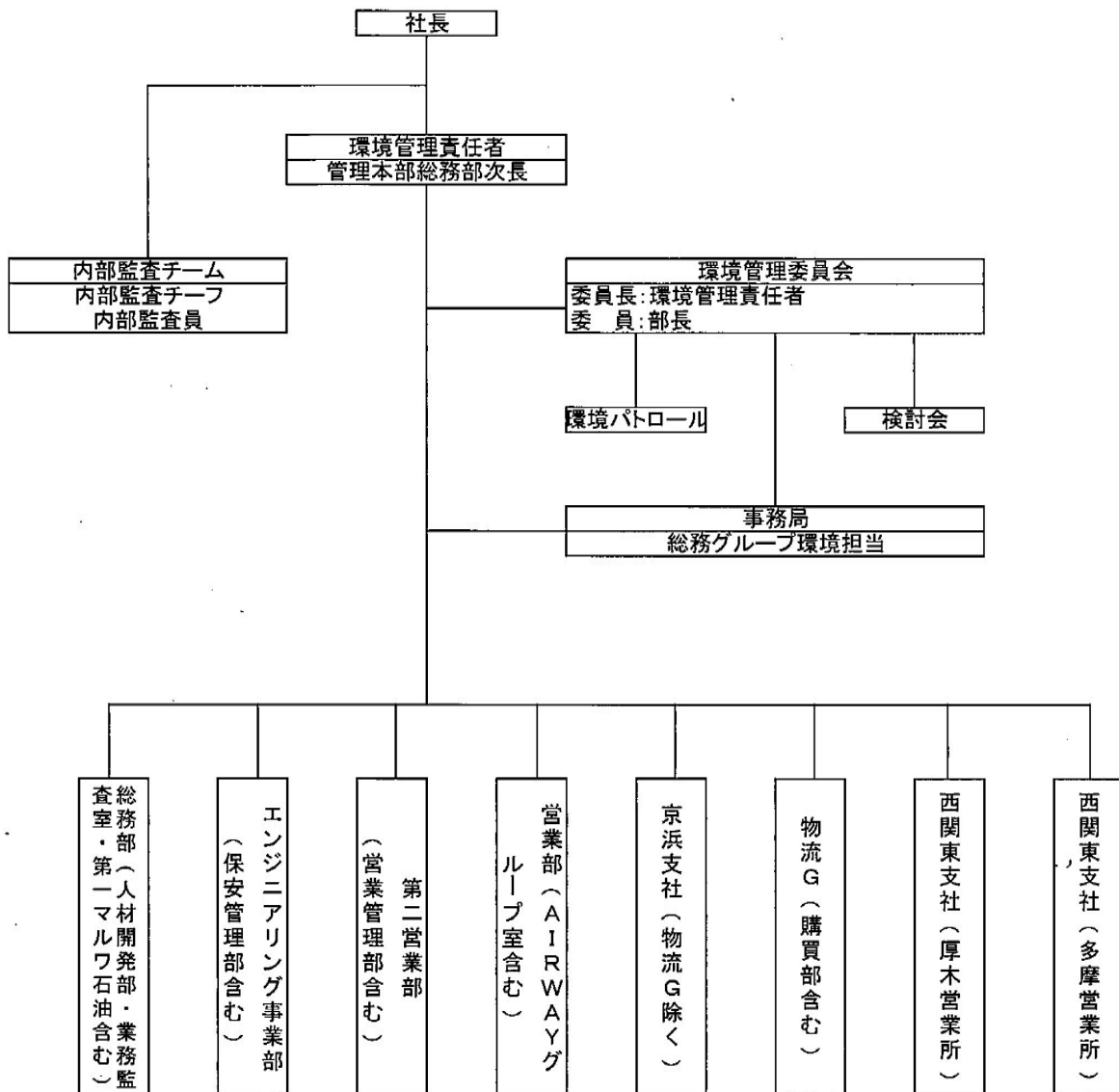
1. 当社は、企業活動のさまざまな局面において、地球環境への負荷の低減を図るため、次の事項を積極的に推進する。
 - (1) 省エネルギー、省資源
 - (2) 資源のリユース、リサイクル、廃棄物の削減
 - (3) 環境に配慮した商品の開発、販売、購入
 - (4) 未来エネルギー関連事業の強化
 - (5) フロンの回収、廃棄活動への関与
 - (6) 地球にやさしい流通の実現
2. 当社は、環境に関する適用可能な法的規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、汚染の未然防止に努める。
3. 当社は、環境目的・目標を設定し、環境管理活動を推進するとともに、見直しの枠組みを設け、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努める。
4. 本方針は、文書化するとともに、全従業員及び当社のために働くすべての人に周知する。また、環境保全意識向上のための教育、啓蒙活動を実施する。
5. 本方針は、一般に開示する。

3. 環境マネジメント体制

当社では、下記に示す環境マネジメント体制を組織し、環境活動を促進しています。

環境管理マニュアル

別図一1 環境マネジメント体制図



4. 活動内容

(1) 目的・目標

項目	目的	平成20年度 目標	平成21年度 目標	平成22年度 目標	平成23年度 目標
地球環境 への負荷 の 低減	フロン回収・廃 棄活動の推進	フロン回収作業の 実施 実施 12回	フロン回収作業の 実施 実施 12回	フロン回収作業 の実施 実施 12回	フロン回収作業 の実施 実施 12回
	車両の排ガスのク リーン化	EV車へ買い替え 5台	EV車へ買い替え 5台	チャレンジ25 キャンペーン参加	低公害車の現状把握 チャレンジ25キャ ンペーン参加のため の検討会 2回
省エネル ギー・省資 源の推進	電気使用量の 削減(※)	電気使用量を H11年度対比 22%削減	電気使用量を H11年度対比 22%削減	電気使用量を H11年度対比 22%削減	電気使用量 H22年度対比 15%削減
		空調設備の更新 2台	空調設備の更新 1台	空調設備の更新 1台	空調設備の更新 1台
	自動車燃料使用量 の削減(※)	自動車燃料使用量 をH13年度対比 16%削減	自動車燃料使用量 をH13年度対比 18%削減	自動車燃料使用量を H13年度対比 20%削減	自動車燃料使用量 H22年度対比 5%削減
	コピー紙使用量の 削減	コピー紙使用量を H12年度対比 35%削減	コピー紙使用量を H12年度対比 40%削減	コピー紙使用量を H12年度対比 45%削減	コピー紙使用量を H22年度対比 5%削減
廃棄物の 削減及び 資源 リサイクル等の 推進	廃棄物の削減	産業廃棄物排出量 H13年度対比 80%削減	産業廃棄物排出量 H13年度対比 80%削減	産業廃棄物排出量 H13年度対比 80%削減	産業廃棄物排出量 H22年度対比 (13.7 m ³) 以下
		再使用の推進 再使用等件数 136件	再使用の推進 再使用等件数 136件	再使用の推進 再使用等件数 136件	再使用の推進 再使用件数 136件
環境 商品	環境商品の提案	H16年度販売実績 の40%アップ	H16年度販売実績 の50%アップ	H16年度販売実績の 60%アップ	環境商品販売実績 H22年度実績の 5%アップ
		環境商品の提案 60ポイント	環境商品の提案 65ポイント	環境商品の提案 70ポイント	環境商品の提案 75ポイント
環境 商品	グリーン購入の推 進(※)	グリーン購入実施 購入率 95%	グリーン購入実施 購入率 95%	グリーン購入実施 購入率 95%	グリーン購入実施 購入率 95%
	物流G(購買部)	—	—	グリーン調達の推進	グリーン調達の推進
	総務部	事務用品以外のグ リーン購入の導入(8種 類)	事務用品以外のグ リーン購入の導入(9種 類)	事務用品以外のグ リーン購入の導入(10種 類)	事務用品以外のグ リーン購入の導入(12種 類)と拡大の検討
法的規制 等の遵守	MSDSの配布	MSDSの配布 100%	MSDSの配布 100%	MSDSの配布 100%	MSDSの配布 100%維持
地域社会 との協調、 共生	会社周辺の従業員 による一斉清掃	会社周辺の清掃 年 4回	会社周辺の清掃 年 4回	会社周辺の清掃 年 4回	会社周辺の清掃 年 4回
教育、啓蒙 活動	従業員環境教育	外部講習への出席 9人	外部講習への出席 9人	外部講習への出席 9人	外部講習への出席 9人
	環境パトロールの 実施	環境パトロールの実施 年 6回	環境パトロールの実施 年 6回	環境パトロールの 実施 年 6回	環境パトロールの 実施 年 6回
	下請業者への環境 情報の提供	環境情報の提供 年 2回	環境情報の提供 年 2回	環境情報の提供 年 2回	環境情報の提供 年 2回
地球にや さしい流 通の実現	エネルギー使用の 合理化	—	物流関係燃料使用量 について現状把握の 継続	物流関係燃料使用量 について現状把握の 継続	物流関係燃料使用量 について現状把握の 継続
	CO ₂ 排出量の少 ない流通の実現	—	CO ₂ 排出量の集計 方法について検討す る	CO ₂ 排出量の集計 方法について検討す る	CO ₂ 排出量の集計 方法について検討す る

(2) 活動結果

①地球環境への負荷の低減

目的		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
フロン回収・廃棄活動の推進	目標	フロン回収作業の実施 実施12回	フロン回収作業の実施 実施12回	フロン回収作業の実施 実施12回	フロン回収作業の実施 実施12回
	結果	7回	12回	14回	13回
車両の排ガスのクリーン化	目標	エコ車へ買い替え 5台	エコ車へ買い替え 5台	チャレンジ25 キャンペーン	低公害車の現状把握 チャレンジ25キャンペーン参加のための 検討会 2回
	結果	3台	1台	参加	実施

補足

(a) フロン回収破壊法に定める回収等の実績

回収業者登録地：神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県

※) 静岡県と三重県の登録を廃止しました。

	CFC	HCFC	HFC	回収実施地域
平成21年度	30.05 kg	525.95 kg	71.9 kg	神奈川県、東京都
平成22年度	75.1 kg	1980 kg	370.5 kg	神奈川県、東京都
平成23年度	0kg	192.21kg	909.91kg	神奈川県、東京都

環境省公表による、平成22年度のフロン類回収実績

約3895トン

※) 平成23年度分は、平成24年12月に発表されます。

(b) 車両は全てエコ車に買い替えたためチャレンジ25キャンペーンに参加することとした

②省エネルギー・省資源の推進

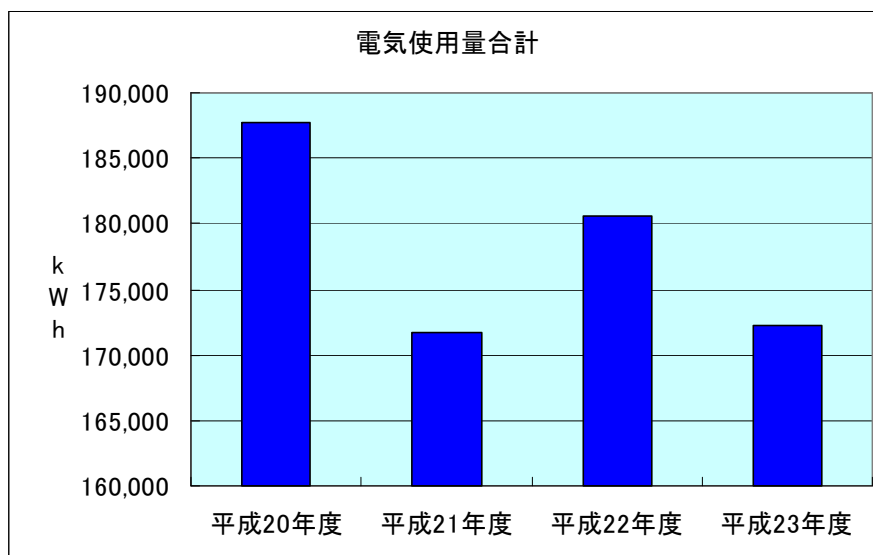
目的		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
電気使用量の削減	目標	電気使用量を H11年度対比 22%削減	電気使用量を H11年度対比 22%削減	電気使用量を H11年度対比 22%削減	電気使用量 H22年度対比 15%削減
	結果	22.6%削減	29.3%削減	22.5%削減	13.4%削減
	目標	空調設備の更新 2台	空調設備の更新 1台	空調設備の更新 1台	空調設備の更新 1台
	結果	×	×	×	×

目的		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
自動車燃料使用量の削減	目標	自動車燃料使用量を H13年度対比 16%削減	自動車燃料使用量を H13年度対比 18%削減	自動車燃料使用量を H13年度対比 20%削減	自動車燃料使用量を H22年度対比 5%削減
	結果	27%削減	31%削減	28%削減	8.1%増加
コピー紙使用量の削減	目標	コピー紙使用量を H12年度対比 35%削減	コピー紙使用量を H12年度対比 40%削減	コピー紙使用量を H12年度対比 45%削減	コピー紙使用量を H22年度対比 5%削減
	結果	41.7%削減	48.2%削減	46%削減	17.1%増加

補足

- (a) 自動車燃料及びコピー紙使用量は活動の適用範囲となりました。西関東支社の基礎となる活動前のデータが不正確であったため、活動結果が不適となってしまいました。マネジメントレビューでは、社長に報告し、了承されています。
- (b) 電気使用量 (KWH) 及び電気料金の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
電気使用量(KWH)	187,743	171,679	180,635	172,191	
電気料金	従量(円)	2,543,826	1,820,350	2,054,407	2,261,324
	基本(円)	1,449,381	1,381,158	1,399,257	1,448,921
	合計(円)	4,023,213	3,201,608	3,453,664	3,710,245



- (c) 自動車燃料使用量については、平成14年度から平成13年度をベースとして、目標値を設定した。平成23年度は、22年度をベースとして、目標値を設定した。

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
使用量 (L)	61,185	58,567	61,810	73,128

年度	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度	
本社 自動車台数	乗用車	4 台	乗用車	4 台	乗用車	4 台
	トラック	2 台	トラック	2 台	トラック	2 台
	バン	31 台	バン	31 台	バン	32 台
厚木営業所 自動車台数					乗用車	5 台
					トラック	1 台
					バン	3 台
多摩営業所 自動車台数					乗用車	0 台
					トラック	1 台
					バン	3 台

(d) コピー紙購入数及び使用量の推移 (A4換算)

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
コピー紙使用量	194,804	172,668	180,547	201,554
コピー紙購入数(*)	164,850	204,750	136,050	214,650

* 購入したコピー紙の種類
総合評価値 80 以上

③ 廃棄物の削減及び資源リサイクル等の推進

目的		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
廃棄物の削減	目標	産業廃棄物排出量 H13 年度対比 80%削減	産業廃棄物排出量 H13 年度対比 80%削減	産業廃棄物排出量 H13 年度対比 80%削減	産業廃棄物排出量 H22 年度対比 (13.7 m ³) 以下
	結果	77.1%削減	81.2%削減	85.9%削減	53.3%増加
	目標	再使用の推進 再使用等件数 136 件	再使用の推進 再使用等件数 136 件	再使用の推進 再使用等件数 136 件	再使用の推進 再使用等件数 136 件
	結果	153 件	174 件	160 件	152 件

補足

(a) 紙ごみ量の削減については、平成 13 年度で目的を達成し、又「コピー紙使用量削減」の施策の、裏紙の利用及び紙類のリサイクルで自動的に減少するので平成 14 年度から、目標項目から除外した。

※紙ごみ排出量の推移 (単位: 袋)

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
排出量(袋)	262	218	216	208

(b) 紙類のリサイクル量の推移 (紙類の再生業者への持ち込み量) 活動は本社のみ

年度(*)	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
ダンボール(Kg)	1,630	1,200	1,360	1,590
雑誌類(Kg)	4,170	2,710	3,630	2,610
合計(Kg)	5,800	3,910	4,990	4,200

(c) 金属類のリサイクル量の推移（金属類のリサイクル業者への持ち込み量）活動は本社のみ

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
アルミ (Kg)	-	-	-	-
鉄 (Kg)	-	1,350	1,610	1,620
非鉄 (Kg)	-	460	220	270
合計 (Kg)	-	1,810	1,830	1,890

※平成 18 年度から平成 20 年度はリサイクル業者が引き取り、分別を実施しています。
平成 21 年度より、自社で分別し、リサイクル業者へ持ち込んでいます。

④環境商品

目的		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
環境商品の提案	目標	環境商品販売 実績 71,327(千円)	環境商品販売 実績 76,421(千円)	環境商品販売 実績 80,985(千円)	環境商品販売 実績 98,712(千円)
	結果	143,357(千円)	89,875(千円)	93,587(千円)	167,573(千円)
グリーン購入の 推進	目標	グリーン購入実施 購入率 95%	グリーン購入実施 購入率 95%	グリーン購入実施 購入率 95%	グリーン購入実施 購入率 95%
	結果	97.3%	95.3%	97.7%	93.7%

補足

(a) 平成 19 年度から総務部において事務用品以外のグリーン購入を実施している。

(b) 平成 22 年 11 月にグリーン調達ガイドラインを設けた。

⑤法的規制等の遵守

目的		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
MSDSの配布	目標	MSDSの配布 100%	MSDSの配布 100%	MSDSの配布 100%	MSDSの配布 100%
	結果	100%	100%	100%	100%

☆緊急事態対応訓練の様子（本社：可燃性毒性ガスの大量漏れを想定）



厚木営業所（可燃性ガスの大量漏れを想定）



多摩営業所（可燃性ガスの大量漏れを想定）



⑥地域社会との協調、共生

目 的		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
会社周辺の従業員による一斉清掃	目 標	会社周囲の清掃 年 4回	会社周囲の清掃 年 4回	会社周囲の清掃 年 4回	会社周囲の清掃 年 4回
	結 果	4回実施	4回実施	4回実施	4回実施

補足

一斉清掃実施区域

- (a) 本社
本社から東京方面に向い、陸橋を上がり、新子安駅から踏切を渡り横浜方面へ向い、公園から、15号線を渡り本社へ戻る歩道並びに本社周辺
- (b) 厚木営業所
営業所から右側（ガソリンスタンド脇まで）左側（側道グリーンベルト）まで
- (c) 多摩営業所
会社正面道路の左右及び都道59号線の周辺

一斉清掃の様子
本社



厚木営業所



多摩営業所



⑦教育、啓蒙活動

目的		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
従業員環境教育	目標	外部講習への出席 9人	外部講習への出席 9人	外部講習への出席 9人	外部講習への出席 9人
	結果	9名出席	9名出席	9名出席	9名出席
環境パトロールの実施	目標	環境パトロールの実施 年6回	環境パトロールの実施 年6回	環境パトロールの実施 年6回	環境パトロールの実施 年6回
	結果	6回実施	6回実施	6回実施	6回実施

下請業者の環境教育	目 標	下請業者への環境情報の提供 年 2 回	下請業者の環境教育 年 2 回	下請業者の環境教育 年 2 回	下請業者の環境教育 年 2 回
	結 果	2 回実施	2 回実施	2 回実施	2 回実施

補足

(a) 主な外部講習
内部監査員養成セミナー、グリーン購入セミナー、ISO 情報交換会

(b) 環境パトロールによる指摘件数の推移

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
指摘件数 (件)	5	4	5	2

(c) 平成 17 年度から下請業者の環境教育は定着したため、目標を下請業者への環境情報を提供することにした。

⑧平成 23 年度 C O 2 排出量

(厚木と多摩は、下期 (11 月～4 月) の 6 か月分の実績です。)

項目	エネルギー源 C O 2 排出係数 (環境省ホームページより)	使用量	C O 2 排出量 kg
電気使用量	0.339kg/kwh	172,191kwh	58,372.7
※1. LPガス	1.8kg/m ³	197m ³	354.6
水道	0.16kg/m ³	1,170m ³	187.2
ガソリン	0.64kg/l	73,128l	46,801.9
※2. ごみ	0.24kg/kg	1,061kg	254.6
		排出量合計	105,971.0

補足) 2009 年度、2010 年度のごみの量はリサイクルした量も含まれています。

C O 2 排出量の推移

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
C O 2 排出量 (kg)	103,223	96,089	101,193	105,971.0

※1. 自家使用のため概算

※2. 1 m³=1,000 kgに換算

5. 投資

(1) 投資

単位：円

番号	項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
1	備品	64,850	67,710	32,000	126,582
2	設備工事	0	50,000	0	0
3	審査登録	453,961	465,685	1,016,200	448,962
4	講習研修	95,000	84,192	31,600	44,030
5	法令等書籍	143,000	155,234	50,000	162,477
	合計	756,811	822,921	1,129,800	782,051

補足

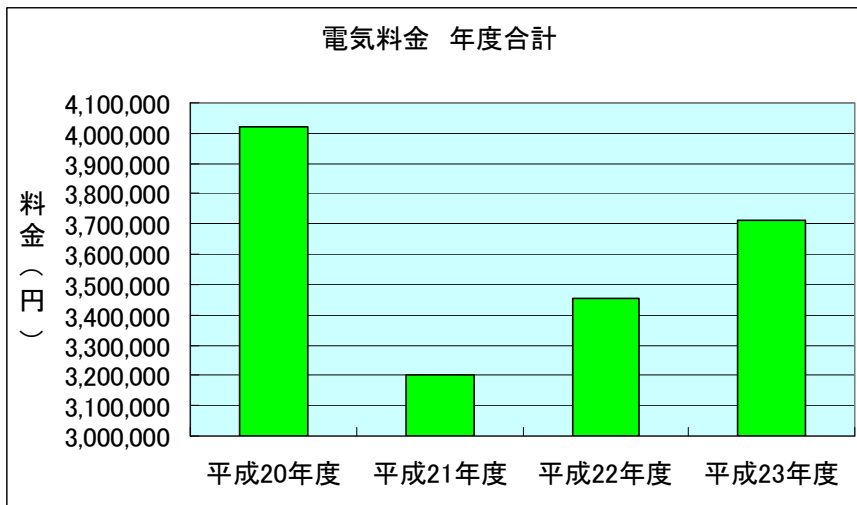
- (1) 備品 分別ボックス、LED 蛍光灯・LED ランプの購入
(2) 設備工事
(3) 審査登録 高圧ガス保安協会への審査登録費用、グリーン購入ネットワークへの登録費用等

- (4) 講習研修 内部監査員養成セミナー等
- (5) 法令等書籍 環境関連法令規集、定期購買誌、環境関連書籍等

(2) 効果

①電気使用料

		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
電気使用量 (KWH)		187,743	171,679	180,635	172,191
電気料金	単価 (円/KWH)	13.5	18.6	19.1	19.9
	基本 (円)	1,449,381	1,381,151	1,399,257	2,261,324
	従量 (円)	2,543,826	1,820,350	2,054,407	1,448,921
	合計 (円)	4,023,213	3,201,608	3,453,664	3,710,245



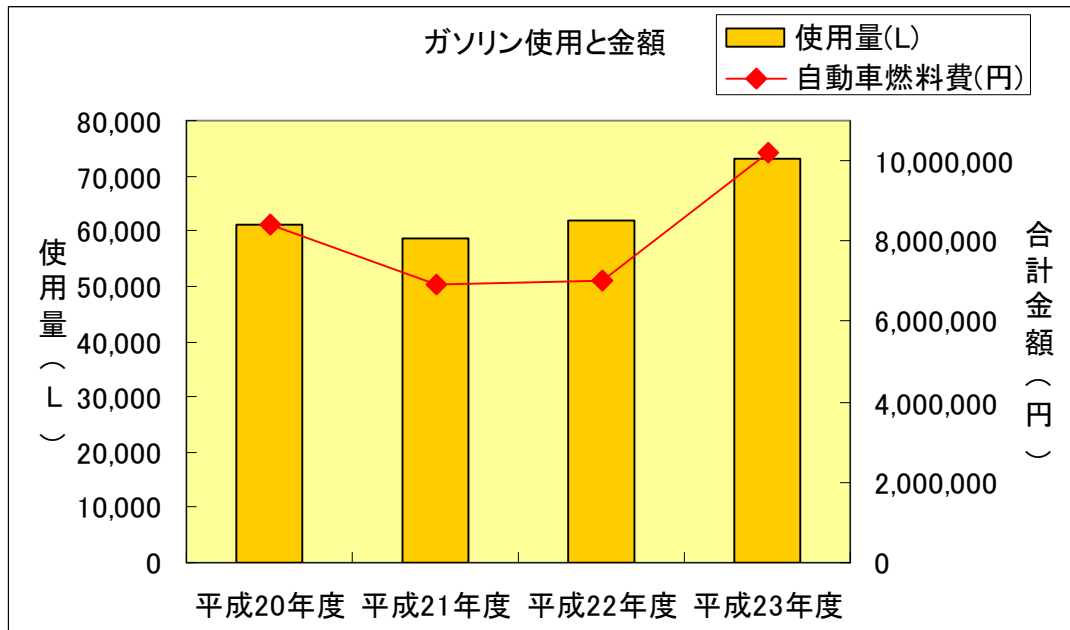
LED照明の導入事例



LED蛍光灯も、従来型と同様の照度です。

②自動車燃料費

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
使用量 (L)	61,185.8	58,567	61,810	73,128
自動車燃料費 (円)	8,435,476	6,901,789	7,014,261	10,210,772
参考 (レギュラーガソリン平均単価)	@123	@133	@132	@140



③コピー紙購入費用

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
コピー紙購入数(*)	164,850	204,750	136,050	201,554
コピー紙購入費用	153,580	190,680	126,700	214,650

*A 4 換算

購入したコピー紙の種類

平成 22 年度から総合評価値 80 以上

④ 廃棄物の削減

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
産業廃棄物排出量 (m ³)	16.5	13.6	13.7	21.0
処理費用 (円)	253,500	177,400	173,250	254,800

⑤ 環境商品の取組み

☆スクラバー (セイコー化工機製)

製造プロセスから発生する腐食性ガスを除去する装置としてスクラバーをお客様に提案して、環境保全に取り組んでいます。



☆無電極ランプ

「長期間に渡り故障や停止が許されない」という設計思想を取り入れた照明のことで、倉庫・屋外用照明の水銀灯に代わるフィラメントを持たない次世代照明です。

笠型



投光器型



設置例



⑥ フロン回収の取組み

単位：円

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
売上金額（概算）	2,400,000	2,000,000	2,400,000	3,813,032



株式会社 渡商会

〒221-0021 横浜市神奈川区子安通 2-234

TEL 045-441-1330 FAX 045-441-7168

ウェブサイトアドレス : <http://www.watarai.co.jp>